荒川区商店街連合会機関紙

荒川区商連ニュース

No.252
2018.5.20

第32回 川の手荒川まつり 同時開催 第39回 商業祭

荒川最大のイベント開催!!

「第39回荒川区商業祭」、共催「第32回川の手荒川まつり」が4月29日(祝)に都立汐入公園で開催された。初夏を思わせる日差しのなか、午前9時に南千住駅前を出発したマーチングバンドが会場に到着。午前10時に開会セレモニーがスタート。

川の手荒川まつりには、荒川区と交流の27自治体の物産販売や観光PRなどの「ふるさと市」、「官公署コーナー」、「福祉チャリティーコーナー」、「区民団体コーナー」等のブースが開設。会場ステージではダンス、太鼓等の演技披露や仮面ライダービルドショーが演じられた。区商連・商業祭は、「バザール」、「模擬店」、「我楽多市」を開催。祭りの最後は恒例となった「川の手スプリングセール」&「ラッキーナンバーくじ」の二つの大抽選会が実施され、全イベントを盛況のうちに終了した。

抽選券の配布を待つ行列

1時間以上並んだ人もでたラッキーナンバーくじ抽選券の配布

発　行

荒川区商店街連合会
〒116-0002
荒川区荒川 2−2−3
荒川区役所 6 階
産業振興課内
TEL 03-3803-3003
FAX 03-3802-3646
発行人　小野塚　鷹一

編　集

諏訪山デザイン事務所
Eメール：
arakawa@j-passage.com
下記の区商連ニュースHPから
バックナンバーが閲覧できます。
www.j-passage.com/arakawa

本号の主な内容

販売開始前から人だかり、今年も大盛況の我楽多市

我楽多市でお得な商品をゲット

■商業祭

荒川区商業祭は、1979年(昭和54年)に、区商連青年部を中心に区役所前公園で初開催。

1986年(昭和61年)から、「川の手荒川まつり」と同時開催となり、現在に至っている。

商業祭会場では商店街連合会会員によるバザール(物販主体)、模擬店の他、区内商店街から提供された商品を激安で売る「我楽多市」、当日に無料配布する「ラッキーナンバーくじ抽選会」を実施。今回も配布抽選券500枚に当選数51本の高当選率だった。

恒例の我楽多市も、時間前から多くの人が集まり、毎回お得な商品を求める人で争奪戦となっている。

長い行列があちらこちらに

好天にも恵まれ会場はどこも大賑わい

川の手荒川まつり会場は北は北海道広尾町から南は和歌山県みなべ町まで27の交流都市が参加。区内の官公庁・各種団体も50を越えるコーナーが出店。特設ステージでは、ダンスや太鼓等の演技もあり、今年は1日で約5万人を越える集客で、荒川区内最大の動員イベントとなっている。

人で埋まった会場

■商業祭抽選会

イベント終盤の午後3時20分から、抽選会の開始を待ちわびる会場ステージに区商連役員が登壇。

川の手スプリングセールの参加商店街で進呈された抽選券（最高10万円の区内共通お買い物券）と当日に商業祭会場で配られた「ラッキーナンバーくじ」（最高5万円の区内共通お買い物券や自転車、ホテル宿泊券等）の2つの抽選を連続で行った。

ラッキーナンバーくじ抽選会は当選番号を3回呼び上げ、該当者が名乗り出ない場合は無効になる。

今回は当選者が全て3回以内に名乗り出て、再抽選は全く無い抽選会となった。

川の手スプリングセール

平成30年度川の手スプリングセール（特売&抽選券進呈）は、荒川区の支援のもと16商店会約420店が参加した。セール期間は（下記表参照）各会自由設定で昨年と同程度の日数が多かった。

抽選券は、前年同様の宝くじ方式（4月29日の商業祭で公開抽選）。景品は全て区内共通お買い物券で、特賞の10万円分から3等の3千円分まで当選本数は351本。

特賞・一等・二等の引換は区商連事務局、三等は各商店会で行う。

平成30年度 川の手スプリングセール 参加商店街と実施日

商　店　街　名	実施日（4月）
ジョイフル三の輪	14日～21日
間道商興会	15日～22日
南千住商友会	21日～28日
南千住仲通り商店会	16日～28日
コツ通り商店会	23日～28日
べるぽーと汐入商店街	14日～21日
荒川なかまち通り商店会	23日～28日
まちやアベニュー	20日～28日
旭電化通り商光会	14日～28日
ふれあいCITYおぐぎんざ	21日
はっぴいもーる熊野前	27日・28日
東京女子医大通り宮前商店会	20日～26日
あっぷるロード小台	14日～16日
小台橋みずき通り商店会	23日～27日
小台本銀座商店会	19日～21日
冠新道商興会	20日～26日

荒川ケーブルテレビの取材を受ける居串俊男区商連副会長

取材を受けるあらかわ逸品の会、区商連青年部田中部長と万年氏

にっぽり春まつり
荒川区交流都市フェア

3月24日(土)午前10時から午後4時まで、日暮里駅前イベント広場で、日暮里中央商業会の主催するにっぽり春まつりが開催された。

イベントには荒川区と交流関係のあるつくば市と米沢市の両観光大使も参加、会場では計10ヶ所の市や県が参加し各地の名産品を販売した。

24日の抽選会は、前もって3月19日から24日の間、商店街を利用したお客様に配布した抽選券で実施。抽選会参加の先着500名にはペットボトルのお茶もプレゼント。

にっぽり春まつりのチラシ裏面と表面

冠新道 さくら祭り

冠新道商興会では3月25日(日)午前11時から午後4時まで、桜が満開の商店街通りを会場に冠新道さくら祭りを開催した。

イベントに無料で参加できる「冠新道さくら祭り無料券」は開催日の25日まで、商店街の各店舗での利用者に配布する方式。

この無料券は各先着でビンゴゲーム300名、輪投げゲーム300名、子供ゲーム300名、子ども駄菓子の進呈300名、お茶または甘酒の進呈各400名として利用された。

会場の露店では商店街グルメを販売、通りではの桜の下にひかれたブルーシートでお花見を楽しんだ。

会場設営のステージで、日本タレント協会所属のタレントによるパフォーマンス、バルーンアート、キッズダンスなど盛りだくさんの演目が会場を盛り上げた。

冠新道さくら祭りのチラシ

第6回おぐとぴあ23
春の大バザール開催

4月16日(日)午前10時から午後3時まで、尾久本町通り商店会では第6回おぐとぴあ23を開催。

開催前日からの雨が当日の午前8時まで続き、吹奏楽やダンスなど参加団体には中止を伝達。その後、急速に天候が回復し、開始時は晴天、11時の西川区長のセレモニー挨拶も青空の下、無事に行われた。

商店会では抽選会や子どもスタンプラリー等を実施、フリーマーケットは昼頃から続々開店、予定時間いっぱい多くの来街者で賑わった。

天候の回復で屋台も多くの人で賑わった

昼頃からフリーマーケットも続々オープン

空くじなし1回100円で参加できる抽選会に長い行列

＝がんばる商店を応援します！＝

平成29年度　区振連・二世研修会を開催

表題は「お客様と一緒に考えましょう！商店街のこと」

4月18日午後8時から、区役所6階産業経済部会議室を会場に、荒川区振連主催・二世研修会が開催された。

今回は「お客様と一緒に考えましょう！商店街のこと」と題して、日頃から地域を良くしようと活動するコミュニティカレッジのメンバーを消費者の代表として招き、全国的に衰退傾向にある商店街の活性化についてディスカッション形式で行なった。

研修会の司会は区商連青年部小池寿郎氏、コーディネーターは荒川区企業相談員・中小企業診断士の杉山健二氏、パネリストは区民側代表としてコミュニティーカレッジから小寺千三郎氏と児玉匡一氏、商店街側から杉山六郎商連副会長、田中伸幸区商連青年部長、商店街の専門家としての鵜野津誠中小企業診断士の計5名。

受講席には区商連組合員14名に加え、一般の区民5名が参加。表題となった商店街の抱える問題やその改善策について意見を交換した。

二世研修会での開催風景

◆商店街を考える命題として

(1)地域社会で公共的役割（防災・防犯・災害・救急・安心安全）を果たしている「商店街」が、地域住民や商店主自身、本当に認知されているか？

(2)消費者から見て魅力ある商店とは？そして、店主が考える子育て層「商店街」デビューへのきっかけ作りとは？の二つのテーマをキーワードとして、意見が交わされた。

◆商店街の現状についての意見

①昔に比べ、かなり勢いが衰えているように感じられる。

②来街者を店内にまで呼び込むような、積極的動きが感じられない。

③商店街が無くなると街が発展しなくなり寂れてしまうのは困る。

④荒川は地域コミュニティー的な温かみのある商店街と感じている。

⑤派手さはあまり感じないが、身近な生活を日々支えている。

⑥荒川の商店街は、他地域よりまだ活気があると思う。

⑦お店の閉店時間が昔に比べて早いので、お客が隣の北千住に流れている。

⑧人口の3割を占める高齢顧客にもっと商売の意識を向けてはどうか。

⑨商店街に、子育て世代を引き込む施設や要素が少ない。

⑩消費者ニーズをあまり考えず、つかんでいないお店も見受けられる。

⑪レトロ感も使い方で良い面もあるが、時代感覚がずれているお店もある。

などの厳しい意見から商店街に同情的な感想も各パネラーからでた。

◆今後の商店街の活動への提言は

①地域で人がつながるきっかけがつくれるイベントが必要。

②商店街は今以上に新しい文化や情報の発信に取り組む努力を。

③地域のボランティア人材をもっと商店街活動に取り込む工夫を。

④商店街組織に若い世代が入りやすい仕組みづくりを。

⑤ここでしか買えない逸品を数多く作ってお店の魅力を高める。

など、これから商店街組織が考えるための意見が述べられた。

◆研修会のまとめとして

商店街組織の高齢化と人材の減少は今後も続く。これからの商店街活動は地域の問題として考え、つながりを大切にしたボランティア人材の取込みが欠かせない。

経営もどこでも同じ商品を販売する物販から、お店独自の逸品を主力に、真に魅力ある商品の開発販売で、商店街に魅力あるお店を数多く増やしていく努力が必要だ。（抜粋）

◆編集後記

荒川区に隣接した葛飾や足立には、数年前から大型ショッピングモールが進出し、地域商店街の活動にも少なからず影響を与えている。

都内は人口集積が高いことで、活発に活動する商店街も多いが、地方では昔から栄えた中心都市でも、駅前通りに空き店舗が生まれ、シャッター通り化する場所も増えている。

中心都市でもない街では、駅前にコンビニすらなくなり、買物難民が増え、その救済策に悩む市町村もでている。

深刻な話であるが、そこは「商店街はこれからも街に必要なのか」という究極の命題すら語られ始めている。

ここ荒川区も全国的な住民の老齢化は同じだが、都心に近い事もあり、家業だった商売が駄目なら貸店舗やアパート経営などへ転身もし易い。

しかし、商店街のなくなった荒川を想像できるだろうか。そこには生活のしやすさや地域の誇りもない、そして生き甲斐もない人たちの街になるのかも。だからこそ、地域の安心・安全のために、商店街はこれからもずっと輝くことを目指し、活動を続けなければと、改めて言いたい。

都内商店街の空き店舗が分かるWebサイト

東京都産業労働局及び東京都商店街振興組合連合会では、平成30年3月23日（金）に都内での出店や事業展開を検討する方に向けて、貸店舗・貸事務所の情報やその近隣商店街が検索できるWebサイト「TOKYO商店街空き店舗ナビ」を開設しました。

このサイトの主な機能は、三つあります。

⑴空き店舗の物件検索機能

・「貸店舗」及び「貸事務所」についての物件情報を、「地域」「駅」「地図」の条件から検索することができます。

・物件情報とその物件の近隣商店街名を合わせて表示します。

・Google マップのストリートビュー機能を活用し、物件の近隣風景を確認することができます。

⑵魅力ある商店街の紹介

・空き店舗事業等に取り組む商店街の取材記事を掲載します。

⑶都内区市町村の商店街関連施策のリンク掲載

・都内区市町村の商店街関連施策を掲載したホームページのリンク先をまとめて掲載します。

スマートフォンはこちら→

HPはこちら→http://akitenpo.tokyo

魅力あふれる個店づくり事業「LANP」の取組

荒川区では、平成29年度に魅力あふれる個店づくり事業「LANP」を開始し、個店の魅力向上や個店間のネットワーク構築を推進するとともに、ネットワークから創出される新たなアイディアや取り組みを支援しています。具体的には、LANPコーディネーターである中小企業診断士の岡隆太氏が、個別に経営に関するアドバイスを行うほか、外部から講師を招いたセミナー及び交流会の開催や経営に役立つメールマガジンを配信する等、手厚いサポートをしています。

平成30年度は、個店間のネットワーク構築をより一層推進する予定です。魅力あふれる個店づくりに意欲的な方は、LANP会員にぜひご登録ください。

【会員登録方法】

荒川区のホームページ→仕事・産業→商業振興→魅力あふれる個店づくり事業「LANP」のメールフォームに入力・送信するほか、商業振興係で配布する登録申請書をご提出ください。

LANPセミナー&交流会の様子

荒川区商業事業者訪問支援事業へのご協力のお願い

荒川区では、平成30年度に、区内商業事業者の経営状況等の実態を把握し、新たな商業振興施策を策定するため、「荒川区商業事業者訪問支援事業」を実施します。

5月上旬から9月下旬にかけて、中小企業診断士の資格を有する調査員が各事業者を訪問し、経営相談やアドバイス等の支援を行うとともに、聞き取り調査を実施します。今回の調査内容は、「5年前と比較した売上・顧客数の状況」「生産性向上のための取組みと、それを阻害する要因について」「今後、区に期待する事業者向け支援事業」等です。

ぜひこの機会を有効にご活用いただき、今後の事業運営にお役に立てください。

◆平成30年度　産業経済部の幹部職員等◆

産業経済部長　石原　久
産業振興課長　岸　洋希
産業振興課商業振興係　係長　三浦　利晃
次席　荒城　信介
主任　飯塚　まり子（高齢者福祉課）
千葉　綾華
関　圭太（新規採用）
経営支援課長　小堀　純（経営支援係長より昇任）
就労支援課長　前田　徳英
観光振興課長　石﨑　正剛
※（　）内は、前所属

■本欄へのお問い合せ等は、産業振興課商業振興係まで
TEL3802・4674　FAX3803・2333

NEWS

■常任理事会をリポート

平成30年2月9日(金)、午後2時から区役所6階経済産業部会議室を会場に、開催された区商連常任理事会の様子を取材した。

参加者は区商連の会長、副会長、各商店会会長、及び各議題に関連する区役所の各部署担当者。

この日の大きな議題は、高齢者福祉課の「認知症を知る」商店街講座について。産業経済部観光振興課の「尾久の原公園シダレザクラ祭り」への出店について。道路公園課の「あらかわバラの市盛り上げ隊」の参加者募集について。地域図書課の「宮前公園内新尾久図書館」の概要について。産業経済部産業振興課商業振興係の「商業セミナー」の開催についてなど多岐に渡った。議題は区の各担当者が内容を説明、それぞれについて質疑がおこなわれた。

また、区商連で開催した商業感謝まつりや、南千住地域で実施した東京都広域支援型商店街事業の実施状況についての成果報告も行なわれた。最後に平成30年度川の手スプリングセールの案件が念入りに討議され、約2時間の理事会を終了した。

概略のみの紹介になったが、各会長は日頃、お店経営で多忙の中参加し、商店街活動を円滑に進めるため、丁寧な常任理事会進行をしている事を確認した。

区担当者と議題についての質疑風景

2018 あらかわ逸品の会参加店

逸品カタログより掲載

荒川区商店街連合会
第66回通常総会開催のご案内

日時／6月28日午後1時～
場所／サンパール荒川

■日暮里繊維街に外国人観光客が注目！

日暮里駅は2010年に「成田スカイアクセス」が開通し、成田空港と東京都心を30分で結ぶターミナル駅になった。駅周辺には全国有数、80軒を超える生地・資材屋があるが、ここでは業者だけでなく、一般客でも手芸材料が購入できる。以前から中国や韓国の業者が仕入れに来ていたが、近年は商品の豊富さや品質の良さで、手芸が盛んなヨーロッパから訪れる愛好家が増えている。

この日暮里繊維街の人気を、荒川の商店街の集客効果（インバウンド）に繋げられたらと期待したい。

第15回 尾久の原公園 シダレザクラ祭り

4月7日(土)午前10時から午後3時、都立尾久の原公園を会場にシダレザクラ祭りが開催された。

区商連主催の尾久の原スプリングフェスタでは、模擬店の出店とお楽しみ抽選会（区内共通お買い物券が当たる）を実施した。

今年は例年より桜の開花が早く、盛りを過ぎた感もあったが、暖かい日差しの中の開催となった。

イベント当日のしだれ桜

抽選会は、さくら投句会の参加者や配布の行列に並んだ方に合計4百枚の番号付き抽選券を進呈、イベント終盤に当選番号を発表した。

当選者が会場にいない場合は無効となるため、抽選券を手にした観客が、区商連役員の当選番号発表毎に大歓声。今回の当選景品は最高3万円から4等5千円迄の区内共通お買い物券が合計30本だった。

ステージで抽選発表する小野塚会長、木塚副会長、内野副会長

祭り会場では、桜をテーマに「さくら投句会」や演奏会やキッズダンス、フラダンス等のステージショー、姉妹都市の物産展、お茶の野点、草花即売会、子供向けゲームなども開催され、多くの来場者で終日賑わいは絶えなかった。

あらかわ逸品の会の模擬店

荒川区商連会員店の模擬店

荒川区商連会員店の模擬店